

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標		
I-2-(3)-② 技術・技能を継承する人材の育成	1	⑧ ⑨ ⑪	明日の公共事業を支える人材確保・育成事業	技術企画課	建設業の若年就業者の減少により、インフラの維持管理に関する担い手不足が懸念されるなか、建設技術の魅力を発信し、公共事業への理解をより深めることで、将来にわたる建設業の人材確保・育成を図る。	建設業に対する関心度（イベント参加者アンケートによる）	97% (H27年度)	目標 80 %	実績 —	達成率 —	80%以上 (R1年度以降毎年度)	継続	1,983	1,967	維持	5,400	順調	子どもたちや若者、またその保護者を対象とした建設業の仕事体験イベントなどの内容の充実を図ることで、より多くの方々に建設業の魅力を伝え、建設業の人材確保につながるよう、継続して事業を進めていく。 加えて、市技術職が「働きたい」仕事として選択されるよう、そのイメージアップにつながる情報発信や職員の能力開発を行う。	順調	建設業の魅力アップに向け、引き続き、建設業の魅力を伝える地道な広報活動が必要であり、令和4年度も継続して実施する。		
Ⅲ-1-(3)-④ 高度情報社会への対応	2	⑦ ⑩	公共工事関係部署のDX推進事業	技術企画課	「デジタル市役所」の実現に向けて、公共工事に関係する部署の発注・契約・検査等の様々な業務のデジタル化をより一層推進する。	「公共工事関係部署のDX推進プラン」を策定時に設定	—	目標 —	実績 —	達成率 —	「公共工事関係部署のDX推進プラン」を策定時に設定	「公共工事関係部署のDX推進プラン」を策定時に設定	「公共工事関係部署のDX推進プラン」を策定時に設定	—	17,000	9,300	減額	8,900	—	「デジタル市役所」の実現に向けて、公共工事に関する部署の発注・契約・検査等の様々な業務のデジタル化をより一層推進するため、以下の取組を行う。 (1) 技術系職場の業務を改革・改善させるため、令和4年度に「工事情報共有システム」を構築する。 (2) RPAシナリオの作成やローコード開発ツールの活用を推進し、技術監理局における業務の効率化を図る。	—	「デジタル市役所」の実現に向けて、公共工事に関する部署の発注・契約・検査等の様々な業務のデジタル化をより一層推進する。
Ⅲ-3-(3)-③ 企業の地域活動への参画促進	3	⑫	【施策評価のみ】 競争入札参加資格業者に対する加点制度	契約制度課	【施策の内容】 本市の物品等供給契約や建設工事における競争入札参加資格において、地元企業の地域での社会貢献活動（子育て支援、男女共同参画、障害者雇用、環境配慮、防災活動など）を評価し、格付けの際に加点することにより、契約制度の面からも本市重要施策の推進を図る。	【施策の指標】 本市の物品等供給契約入札参加資格業者総数に対する評価対象事業者数の割合	27% (H28年度)	目標 29 %	実績 32 %	達成率 110.3 %	29% (R4年度)	継続	—	—	—	—	—	—	—	引き続き加点を実施し、契約制度の面からも施策の推進を図っていく。		
					【施策の指標】 本市の建設工事入札参加資格業者総数に対する評価対象事業者数の割合	38% (H28年度)	目標 44 %	実績 47 %	達成率 106.8 %	49% (R5年度)												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標		
V-3-(1)-① 都市基盤・施設 の適正な整備	4	⑧	公共工事安全 対策強化事業	検査 課	市が実施する公 共工事の安全対策 強化のため、安全 指導を専門とする 公共工事パトロー ル隊を設置し、事 故の抑制を図る。	市発注工事にお ける事故件数	目標	14	件 以下			14件以 下 (R2年 度)	継続	977	953	維持	26,150	順調	建設工事従事者の不注意等 を原因とする公衆災害が多く 発生しており、工事関係者の 安全意識の向上を図るため、 公共工事パトロール隊による 安全点検で工事現場の「不安 全設備」や「不安全行動」の 是正・指導を行う。 さらに、安全研修を行って 事故の再発防止を図る。	順調	公共工事における重大事故 の発生を抑制し、市民と建設 工事従事者の安全と健康を確 保するため、引き続き市発注 工事関係者への指導や安全研 修を実施する。	
							実績	19	件													
							達成率	64.3	%													
						工事成績評定点 の評価項目の 内、「安全対 策」について 100点満点に換 算した点数	目標		75	点 以上	75	点 以上										75点以 上 (R5年 度)
							実績	74.6	点 (R1年 度)													
							達成率															
VI-3-(3)-② 建設リ サイクルの推 進	5	⑨ ⑩	【施策評価の み】 建設リサイク ルの推進	技術 支援 課	【施策の内容】 北九州市発注の 公共工事を対象 に、建設副産物の 発生抑制や建設廃 棄物の再資源化の 徹底、再資源化さ れた建設リサイク ル資材の利用促進 に取り組む。	【施策の指標】 建設廃棄物の再 資源化率	目標	98	%	98	%	98	%	98% (毎年 度)	継続	—	—	—	—	—	前年度に引き続き、建設廃 棄物の再資源化率の目標達成 を目指す。	
							実績	99.1	%													
							達成率	101.1	%													